

# 図書館だより

NO. 80 2004年 10月号  
(2004年10月1日発行)

はつかいち市民図書館  
電話(0829)20-0333  
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

大好きな季節、秋がやってきました。皆さんにとっての秋は、どんな秋でしょうか？食欲の秋？スポーツの秋？芸術の秋？そして読書の秋？

人は誰でも、さまざまな本との出会いがあると思います。幼い頃読み聞かせてもらった絵本に始まり、童話、教科書、自叙伝、伝記、物語と、本との深い関わり無しにはいられません。そして恐らく誰もが、心の節目に心をゆさぶられた、または忘れられない思い出の本、貴重な一冊の本を持っているはずです。あるいは、これから出会うことでしょう。

## 「落ち葉をしまいに、読書の秋」

毎年恒例の読書週間(10月27日～11月9日)のテーマです。各地で読書会や読書まつりが行われています。市民図書館では、10月28日から「子どもと本の講座」として、12月まで5回講座を企画しています。詳しくは、裏面の図書館からのお知らせ、ちらし、または、カウンターへお問い合わせください。

## 今月の展示

### 一般書

#### ・かがくの絵本を楽しもう

～正面・中央通路～

うっとりしたり、じーんときたり、笑ったり、驚いたり。いろいろなものに、ときどきできる感性こそが、「かがくする心」である、というテーマで本を集めてみました。

#### ・さくらびあ物語の本 ー音楽家の恋文ー

～展示コーナー～

音楽家は、実にたくさんの熱烈な恋文を残しています。主にベートーベンを集めてみました。

### 児童書

#### ・実りの秋

～こどもの本の展示コーナー～

山や野原では、たくさんの実がなっています。ぶどうやなし、くりやきのこなど秋はおいしい食べ物でいっぱいです。実りの秋をテーマに本を集めました。

# 今月の新刊 おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。ここでは、その中からみなさんにおすすめしたい本を4点あげてみました。

## 『マイライフ 上・下』

ビル・クリントン 著 楡井 浩一 訳

朝日新聞社 289.3/ク

クリントン前大統領が、驚くほど率直に語った本です。上巻には大統領選までの日々、下巻には内政、外交、さまざまな問題に取り組んだリーダーシップ、スキャンダルに巻き込まれた苦悩、家族への思いが綴られています。

## 『うちの玄米ごはん』

高山 なおみ 著 日本放送協会

596/タ

玄米ご飯+肉や魚のメインのおかず+野菜たっぷりサブおかずで構成された、玄米を基本としたレシピを紹介する。毎日のごはんづくりがラクになるよう、常備菜や自家製合わせ調味料も活用する。

## 『となりの用心棒』

永陽 著 角川書店 F/1

婿養子に入った巨漢の勇作は、一念発起して空手道場を開く。気が優しくて力持ちの勇作は、たちまち商店街のよき相談相手に。が、肝心の門下生は思うように集まらない。情に脆くて女にちょっぴり弱い、ユ一モアヒーロー小説。

## 『ラブレター』

オスヨン 著 金瑛姫 訳

徳間書店 929.1/オ

永遠に報われない愛を秘めて苦しむ少女と、そんな彼女に想いを寄せる男の親友。残酷に絡まった運命に翻弄される三人の愛の行方は…。2003年韓国でヒットしたドラマの原作を翻訳。

# 調べるための本

## その6. 物と事がらを調べる本 3 専門事典34 古典

専門事典には、特定の分野の知識を百科事典のように編集したものと、専門用語に簡潔な解説をしている専門用語集のようなものがあります。そこで、市民図書館にある専門事典を分野ごとに紹介してみます。今回は古典についての本を紹介します。

- ・ 歌語り・歌物語事典 雨海 博洋 ほか編 勉誠社 R913.3/ウ  
「歌語り・歌物語」の発生、展開そして継承をたどり入門書となっています。「和歌」と「物語」の融合した文学事典として利用できます。
- ・ 日本説話小事典 野村 純一 ほか編 大修館書店 R913.3/ニ  
「日本霊異記」「今昔物語集」から、村上春樹の「羊をめぐる冒険」まで。人名・作品名はもとより、話型、研究方法、学説など、日本文学に広がる説話の壮大な世界を340項目で解説されています。
- ・ 源氏物語事典 林田 孝和 ほか編 大和書房 R913.3/ロ  
「源氏物語」を読み解くために欠かせない諸説一覧、作中人物、生活・習慣・環境、ことば・用語、述語・表現、文化史、話型の7つの柱を設けて、369項目を立て、紫式部と要覧編を加えて構成されています。

## 「おいしいものなあに？」

いしづ ちひろ/なぞなぞ  
たかばやし まり/え  
フレーベル館 E/タ

ねずみちゃんとかえるちゃんはとっても仲良し。ある朝、ふたりはいい事を思いつきました。それは…。なぞなぞを解きながら、おはなしも楽しめるちいさななぞなぞ絵本で、1と2があります。

## 「子ども版 声に出して読みたい 日本語」

どっどど どとうど 雨ニモマケズ」  
齋藤 孝/編 下田 昌克/絵  
草思社 809/コ

賢治の作品は、まじめさばかりではなくユーモア感覚にあふれています。擬音語や擬態語がうまく、言葉のテンポやリズムも最高。声に出して読むといっそう味わい深くなります。ベストセラーの子ども版で続編もあります。

## 「ミッドナイトー真夜中の妖精ー」

ジャクソン・ウィルソン/作 尾高 薫/訳  
理論社 933/ウ

絵本作家キャスパー・ドリームの描く妖精物語が大好きなヴァイオレットは、学校でも家でも自分の居場所を見付けられないでいた。ある日兄の秘密を知った彼女は家を飛び出して…。少女の心を温かく見つめながら、軽いタッチで描いた作品。

## シ ス イ ス サ ン フ ラ ン シ ス コ 「This is San Francisco」

ミロスラフ・サセック/著 松浦 弥太郎/訳  
ブルース・インターアクションズ E/サ

サンフランシスコは、西海岸いち美しい街です。ケーブルカーが大活躍のカリフォルニア通り、フィッシャーマンズ・ウォフ、ゴールデンゲート橋など、絵本を見ながらサンフランシスコが楽しめます。

## 「もう、死なせない！」

ー子どもの生きる権利ー

桃井 和馬/著 フレーベル館 369/モ  
「子どもの権利条約」を知っていますか？

子どもたちの保護と権利を守るためにつくられました。でも、世界には全く顧みられない社会から忘れられた子どもたちがたくさんいます。悲惨な生活を送っている子どもたちの現状を写真で訴えています。

## 「シッフ船長といるかの

イットちゃん」

かどの えいこ/さく 偕成社  
オムラ トモコ/え 913/カ

チャチャ号のシッフ船長は、どんな頼まれ事もきいてくれる海のなんでも屋さん。水族館から抜け出したいるかを探すことになった船長は、早速広い広い海へ出て行きましたが…。船長さんのゆかいなお話。

- 『青いイルカの島』 スコット・オデル 作 藤原英司 訳 小泉澄夫 絵 理論社 933/オ  
1966年刊の再刊。本当にあった話をもとに書かれたロングセラー。
- 『闇にひそむ海賊』 イアン・ローレンス 作 三辺律子 訳 理論社 933/ロ  
海洋冒険ミステリー三部作の完結編。
- 『ロブスター岩礁の燈台』 ジェイムス・クリュス 著 森川弘子 訳・解説 未知谷 943/ク  
クリュスのデビュー作。

# 図書館からのお知らせ

読書週間の行事として、「子どもと本の講座」を開催します。

図書館、学校、公民館などいろいろな場所で、子どもたちに本を手渡していく活動が盛んに行われています。そこで、毎年恒例の「子供と本の講座」は「学校で子どもに本を手渡すボランティア」というテーマで、講座を企画しました。絵本の読み聞かせや子どもに本を手渡す活動をされている方、これからやってみたいなど興味のある方、どなたでも参加できます。入場無料、申込不要ですので多数ご参加ください。

第1回 10月28日(木)「子どもたちに絵本をよむこと」

第2回 11月5日(金)「学校でボランティアを受け入れて」

第3回 11月11日(木)「子どもたちとともに絵本を楽しんで

～ボランティアとして～

第4回 11月26日(金)「子どもたちとともに絵本を楽しんで

～授業中におはなし会をして～

第5回 12月9日(木)「新刊絵本の紹介

2003年11月～2004年10月に図書館に入った本

いずれも時間は10:00～12:00. 場所は市役所7階会議室です。

## 図書館からのご案内

＜本のリサイクル市＞

毎年恒例のリサイクルフェスタに、今年も出店します。

とき 10月3日(日)

10:00～14:00

ばしょ 昭北グランド

出店品 寄贈を受けたもので、版が古い、  
または汚れている等の理由で受け  
入れが難しいもの、廃棄した雑誌

※ 当日は袋をご持参ください。

## 利用案内

開館時間 10:00～18:00

貸出冊数 図書 2週間 5冊

視聴覚資料 2週間 2点

休館日 月曜日(祝日のときは翌日)

毎月月末日(その日が土・日・月

のときはその翌日)

返却ポスト 1. 正面玄関向かって左

2. 図書館裏駐車場右